

北京陰謀と警戒
段上將軍入京説
緩遠城の匪徒
佛企業會社

▲大陰謀と嚴戒 袁氏宮廷
這般陰謀圖計盡の露見に由りて、
駭嘆しつゝあり。右陰謀團の目的は
制反對派と氣脈を連じて袁氏及其
派の巨頭を一舉に爆殺するに在て
最初新華宮の内閣官州克明氏の連

洗印銘、蘇秦武の諸人皆捕さるに偵兵探索の結果西華門羊園湖に於て十餘人の連累を捕縛し同時に證據書類及び徒黨の連判も得たるが之に據る時は一味は百餘人に上り此内三三十人の名

者有るも、多く風を食つて逃走せし者あり。同類中の五六人は、交通次長、黎信の邸中に竄匿せしが、之亦た逮捕せられたり。爾來新華門の門衛は、非常重なり、從來とても同門を通過せし者に入る者は、問盤ある者の之れを拒下せしが、現下同門を

んとする一切の職員は皆先づ徳
令處に電話を以て之れを通知し
合處は新華門に於て一々之れを
し莫安全なるを認めて後其通門
るすゝとする等警戒頗る嚴重を
段將軍入京説 段上

より要路面陳の爲め上京を懇請に許可を得たれば不日出發す可の説あるも將軍目下の立埒は其の出動をも許さざる可ければ此は事實に非ざる可しと

行總裁ベルナト(佛人)同銀行支
總理王克敏、稅務署督辦梁士詒
は佛國商法の下に資本六十萬元
て一の企業會社を組織し已に佛
使館に於て登録を経たるが同社
那各埠に於ける有利事業に指を
可く先づ家屋を建築し之を條

て奇利を博せんとせり其目的全
利的に在りて更に政治的の意味
まざるが如し而して重役は前記
の外佛人一名ありと

▲綏遠城の蒙匪 屢報の
城の危急に付き更に聞く所に據
の

同地を攻略せる匪首は綠山と名
 稱二年の外蒙古事變の際領兵員
 て驍名を顯はし頗る用兵に長み
 にて今度は扶洞滅衰を旗幟とし
 七年の年號を用ひ其勢威太は
 るが如し而して綏遠城の陷落
 は猶未確なるも藩部統敗北の生

後のち上のうへ可べからずして爲ために己おのれ報はらひ
同どう氏は罷免ひかんせられて山西第一さんせいだいいち師し
庚かう氏し之これに代かはりたる者ものなり

如く
 長乳
 平安南道に於ける獸疫發生狀態は昨
 年は大正三年末より三月頃迄は炭疽
 今年には未だ僅に一頭
 で二千八百六十六名、産婦人科入院
 十七人外來二百六十三人、小兒科の
 入院十八名外來二千五百二十四人早
 方針にて目下其々準備中なりと（
 月廿一日）

高級齒磨の使用を奨勵する聲益高し

有力なる某軍醫の談に、出征中最も困るは粗惡の齒磨の爲め齒痛を起す者多き事に於て、齒痛は士氣を阻害すること甚だしきが故、齒磨の選擇には頗る苦心せり。而かも醫學者間に理想の齒磨として推奨せられつゝある最新最良の**クラブ**齒磨出で、より、軍隊にては全く此の憂へを免れたりとの事に候。

齒磨位を輕視するの誤れるは此の一事を以ても明かに候。病の入口たる口之齒を保護して之を健康の門たらしむるものは齒磨に候へば、良きが上にも良き齒磨をこ御選擇に十分御注意遊ばされ候事最も御肝要なる次第にて候。

最新最良のウツブ齒磨は小袋一箇三千日間御使用量入一匁か五錢にて提供致居り候。

へば、御一口分只の一厘七毛にも足らず候。一厘七毛は膠島一本の價の三分の一に相當し、敷島一箱の價の六十分の一に過ぎず候。此の僅かなる一厘七毛の費用にて口中衛生が最も完全に保たれ、御氣分の爽快は申すに及ばず、絶對に口臭口熱を除き、齒痛を未發に防ぎ、食物の消化を助け、延いて御職務上の効率増進にも相成

クラフ 齒磨が理想の齒磨として推奨せられつゝあるも故ある事と存じ候。若し口中衛生上の効果如何を顧みず唯だ數を多く賣らん事をのみ目的として安齒磨を造るにせば如何にしても右の如き顯著なる効力を具備せしむる能はず、是れ坊間販賣せらるゝ齒磨の多くが往々無害無効なる所以に候。假に斯くの如き安齒磨の

價一袋一錢五厘とし二十日間の使用に堪へ得るをせば、一日の費用七毛五朱に該當し、**ラフ**齒磨の如き高級齒磨を使用せらるゝ場合に比して僅か九毛五朱の差に過ぎず、即ち一ヶ月三錢にも足らざる差額に候。只の三錢即ち敷島六本の價を吝まざるゝ否に依りて口中衛生の安危が岐るゝ次第に候へば、近來陸海軍人を始め有識

者階級に於て高級齒磨の使用を奨励せらるゝ聲高きも怪しむに足らざる事と有し、
吾人は此の機會に於て、各位の御健康の爲め、理想の齒磨たる最新式の**クラフ**齒磨
の御愛用を祈る者に候。



第百 若紫の自害

A black and white woodblock-style illustration of a man in traditional Japanese clothing kneeling on a patterned mat, writing with a brush on a scroll. He is in a room with a window showing a garden scene and a dark object on a shelf in the background.

[illegible][illegible]

御浪人が御入來になり、私にも御
 會ひなされ、又若衆にも是非會ひ
 たいとの仰にて、花魁に御會ひな
 りましたが、何事やら御頼みの客手
 若衆は御水知桶は有じまされが、
 松平大行状桶の御家來に、父は
 立派な武士で御坐います、親の病氣
 を救はんがため、常家へ來したる
 の、他の遊女とは事異りまして、品
 行も良く、客びも至極宜しく、私
 方では若衆の白綾は残念に思ひま

入に隨意 診療夜九時迄
 泌尿器病 腎臟病 膀胱病 淋病 梅毒 痔瘡 皮膚病
 間專
 永金 藥光 町發 丁二 目丁
 安部醫院
 電話四一八九番

が、死なれば我力のなきこと、何
 卒この苦痛の最期に免じ、失禮な
 り此後、斯様な場所へ御立入りはな

酒醬油漬物商

忠清南道公州
土地酒店

謹賀新年

綏南浦三和町
有木病院

電話一〇八番

[illegible][illegible]

本書は著者が朝鮮併合明治四十三年九月より全年夏に至る迄、五箇年に亙り屢々東京、京城間往來の際に成りたる文章を收輯したるものなり。著者の兩京間を往來するや其の幾回なるかを知らず。而も其の往來毎に感興愈々新鮮にして、其の秀發の觀察と獨特の靈筆を揮つて兩京間の天然と人事を叙するや、雲烟飛動し人物躍如たるもの固より其の所なり。而して記する所單に兩京に止らず、或は途中過境の光景を記し或は觸目の偶感を叙す。不用意の文字真情流露し、而も簡淨疎宕小品の妙を極む。特に「雲養集を讀む」の一文は、朝鮮の碩儒金允植子の人物と文藻を解剖して剝す所なく、「朝鮮統治の要義」は五十頁に亙る長文にと

東京 去 留 誌

[illegible]

總クロース 上製 函入 定價 金壹圓五拾錢
發行所 京城太平通一丁目 振替京城三〇〇番 京城日報社代理部

本質の味は、
水類に溶け出し下げ胸の痞を潤
き、喉の乾きを癒し、口を開
き、便の通じなれど吐瀉、
霍乱俗にひきつる諸毒、
等にも解一切の邪腫及腹症
等によし

價

| | | |
|----------|-------|--------|
| 半瓶分七よぐ入 | 金拾五錢 | 食治貳個 |
| 壹瓶分十四よぐ入 | 丸金參拾錢 | 服金拾四錢 |
| 三瓶分四十よぐ入 | 銀金八拾錢 | 類金六拾五錢 |
| 五瓶分七十よぐ入 | 銅金捌百文 | 金壹圓 |

京城旭町三丁目(元十全病院跡)
小兒科 内科 専門
若槻 醫院
電話三四六三番
ドクトル 若槻 寛隆

優等清酒



臨國縣三井郡山川村

發賣元

京坂永樂町二丁目

富安

富安京城支店

電話一〇三九番

板橋口監四三九番

本店

開通御披露
電話五四二番
印章版木ゴム印並ニ
菓子彫刻
、堂
守山安次郎
京城本町一丁目五十三

人

應切叮嚀、迅速確實に市内配達又ハ
地方通信販賣致居候
支店本署自都役局附

山岸天佑堂

藥品部
器械部

電話
二一〇六
二一〇七

新橋野宮屋
花三三三

諸君御用處

洋藥

賣藥

即問屋

醫療及試驗器械

山岸

資本金五拾七萬五千圓(全部拂込済)
諸積立金廿二萬五千貳百圓

京城南大門通一丁目

株式會社

朝鮮商業銀行

電話五五八番六八一番
振替京城一六三四番

一般銀行業

倉庫業

銀行長 趙 田 鎮 明 敬 泰
支配人 豐 田

支店
南大門支店
本町支店
仁川支店
平澤支店
支店

電話
五五四番
二二二番
二九四番
電話
八〇九番
一〇六番

の問ひに對し
▽加藤海相 今日に於て
は帝國は東洋以外に軍艦を

▽加藤海相 は是れ素より
意力なる。目下は主力艦隊の完成
に努めつゝありと密々大で

▽伊東義五郎男 中野村所
に於て

就き前問を繰返せる問答
あり次に石渡徹一氏又岡田啓之助男より

問 海相に八四艦隊の財源に
關聯ある一項目は如何なるに九

桃山御陵御参拜 大阪砲兵工廠御覽
 露太公殿下には御豫定の如く廿三日午前八時京都驛御著御入洛圓山長樂殿
 前に入らせられ四十時三十分自動車にて飛山兩御凌二参拜大

花環を捧げられし十二時、鐵砲午後三時、砲臺電車にて三時二十分、花
匠に乘られ大砲臺、東京府江戶縣神田區長久保町知事以下多數の紳士を
けさせられ自衛隊にて砲兵工廠に成らせられ兵器製作の工場に
現狀を御覽の上陸軍技手同四名に銀製頸飾五十五名に
賜ふべしと下されたり。次いで四時、臨時解僱行社に成らせられ御休養所
旅團長以下知事市長等に謁を賜ひ五時三十分御歸路相成りたり。(特電)

湖南駐在北洋鎮守師の大部分は四川に向ひ既に出發したるが師團長曹錕は總司令官として出發せるものと信ぜられてゐるも信すべき報告に依れば彼れは猶岳州にありて湖南

の形勢を觀望しつゝあるか如し(北京特電)

●**塙國飛行將校捕虜**

トエント來電に曰く、英國一海軍艦はトリエスト附近に於て海中に墜落せし塙國飛行機の將校を捕虜とせり

右將校を救助せんが爲め塙國水雷艦は右海軍艦に擊沈せられたり(倫敦電報)

滿洲已得の五鐵道以外他に有望且必要なる線路なきや否やは専門家の最も注目せざる所なるが之等鐵道政策につき滿鐵幹部の談に曰く曩に面を蔽ひするは自然たるべし終極的に

北して開原瀋陽龍崗の予定線あれば、遼河を下り、鴨綠江を利用して安東港に至るは、實地後、曩に遺化地方物は

日本は滿洲五鐵道の敷設借款權を獲て今日には四平、輝鄉、家、屯線の其一部分が實現せられんとする時に際し其五鐵道以外他國線の敷設を云々するは過早の識あり又外交に屬するを以て言辭を慎みべしとの批駁あれども日本及びは支那に關係なく滿洲開發のためには支那に關係なく滿洲鐵道の敷設は東亞滿洲開拓のため輕視すべからざる線なり此線より倚靠して吉林會館間の豫定線あれども此は近來世人より忘れられたるの感あり此は別に理由あり胡胡匪より見れば俄の要あるも滿洲鐵道政策より見れば

梁士詒と楊士琦
 梁士詒楊士琦は現時の政界にあつて
 最も有力なるものにあはざるべし
 梁士詒はより觀て滿洲の鐵道政
 策を論ずるは將來のため梁して徒勞
 にあらざるべし
 安東大連線
 梁士詒は現時の政界にあつて
 最も有力なるものにあはざるべし
 梁士詒はより觀て滿洲の鐵道政
 策を論ずるは將來のため梁して徒勞
 にあらざるべし

朝鮮經由航路
大阪商船株式會社所有船の朝鮮經
路、長崎大連間の定期航路を本年三月
限り廢止すべしとの説あるが、右に就
て、向々大豆の輸出禁止に條件附解除を
與へ、自今聯合軍團諸侯並に中立國國
旗を有する船舶に依り中立國へ輸出
を爲すを得可し、但し船積に先づ一
等國連中、英、支の許可證を要す。

商船支店長が、昭所に依れば来る三月にて本社の長崎航路は契約期間満了を満了するを以て、廢止と満したる人も未だ誰かに通知に接せしめず、同航路の補助は毎年二萬圓にて大正五年度は此負擔を遂へたがなして二千圓を削減し該航路の丁抹に大豆を輸出せんとせば其輸入の希望者は有償で丁抹公使を経て露國政府の許可を受け、滿洲港官憲に輸出を差支無量の訓令を發せしめた上にて船積を爲す手配を要する事となしたる旨商業會議所に通知ありたりと

伊絲不足を如何一製鐵業發展の鑑案
本邦御旗
聯合會館
島岡亮太郎氏談

是地は内地より滿洲に遷徙の途大體都ホテルにて語る

我々の問題で歩き廻つて居る男は先づ杜絶せられ、日本は之に取

東洋南洋方面に對する交戰國の智

鐵！鐵！鐵！の聲が到處に叫ばれて居る、軍需品の製造に日も亦足らず船舶の建造に忙殺され、而して歐洲と交戦國に於ける莫大なる需要を海上外匯産物の供給によりて著しく減じ且つ其の價格は日々に昂まり本案噸六

航路は皆日本の獨占する所となつて居る、經濟界は順調である、輸出工場の前途は芳々たるものである、工場の新設擴張は目前の急を告げて居る、船舶の不運は造船業の老成として現はれて居る、凡そ之をして總を要せしめて能力を發揮し得る工

の密貿易は一箇年に百二十萬圓であつて、即ち日本内地、朝鮮半島、支那、印度方面よりの原料からなるものが多いといふ。

最近裁断黄長案が、我々の光の

は三十六七萬噸に過ぎない。製鐵所はこの大勢に鑑みて、揚鐵
鋼案を政府に提出した。農商務省か
ら撥興費を出したら大藏當局は
そんな財源は無いからと割れ付けた
拒絶沈黙を守った。然るに今度ば
日本は眼前に幾多の好機を
迎へてゐる。日清の好機を空さ
す。而かも我々の好機を空さ

つ有様である。然るに我々に對する
最大の惡影響たる歐米の鐵が今後輸入
を激減し或は時的にも杜絕するに
至れば、日本は眼の前に幾多の好機

なな 始めて盡力し其窮狀を救ひだ
功により 衆の勢力は此に恢復し來
たるものある爲め其勢力隆々たる
の狀態に至れるは楊の力も亦預つて
大なるものある爲め其勢力隆々たる
見よ 歐洲大亂によ
の方で製鐵所擴張案を今期議會に提
るであらう。

東であつて、皇華共、現在の狀態を整へ、沖合に從進する事あるを以て、概ね一月、坂井排し、て分業的ならしめ、官營のもの、六月六回若しくは三四の出張をなすは、主として民間の工場で製作不能者の如し、昨年中に於ける漁獲高は二萬三千九百八十八に達し、此の價格に

西事業と相協力して製鐵事業の完全
の鑛産を圖らねばならぬ。此方針
を以て犯らざる製鐵業獎勵策を
すべきである。又日本種々の獎勵策
が營業者より唱へられるが、多くは
地方の境で國家の土地より來
るものが甚しいのは残念である。

一萬二千噸にして二隻の最大通運物
は八百四十噸最少六十八噸日鮮人を
通して一隻平均百八十八噸なり此等
漁貨は河海に沖合に於て從業する
が故に生鮮の儘收藏して歸轉する事
を得ざるを以て

漁獲後直ち に鹽を舐して

事は不可能である、殊に原料供給
 の不確かなる事は日本の企業家が此
 業業に對して勇氣の出る最大原因で
 故に斯業をして大に發達せし
 るやうな方法を要す
 復舊し曾叩き此に對し輸入業者
 四年は償還に達し輸入業者
 かに内地人從價船三十五隻に過ぎざ
 本年元月は三年に比するに三年は僅
 於て仲買業者に販賣する者ありたり
 販賣する者ありたり

日本製鐵業は如何にして日本の主權に於て完全に獨立し得たものである、それは原料の關係が、決して誇揚して云ふのでなく、實際我邦の製鐵事業の發展を成すならば東洋といふ一大きな範圍に於て計るべきであらねばならぬ、此關係より見るに我が財政政策は深く考慮すべきものがある、私の電解は居るべき海關には年額四萬兩の製造を致し、

海は従業者を以て販賣を極めたるが春來の不景氣の爲めに一般輸入のし得べき當分の結果輸入意外に減少したり、木道に於ける鐵鋼製造の發達は近年の事に照して割割干満の差異大なるを以て開せられつゝ有りとし、鐵木道は既に割割干満の差異大なるを以て、因は容易に豫備し得ざるも、天候の半割割の如何なるを得ば大なる不漁を來す事なかる可しと

▲購買力減退

し得べき當分の結果輸入意外に減少したり、木道に於ける鐵鋼製造の發達は近年の事に照して割割干満の差異大なるを以て開せられつゝ有りとし、鐵木道は既に割割干満の差異大なるを以て、因は容易に豫備し得ざるも、天候の半割割の如何なるを得ば大なる不漁を來す事なかる可しと

る等て、**將來は四本とする**情である。又陸軍軍の需要増加の爲め山陽方面に鐵軌鑿工事を本年内に新設する事とした、此等の新計畫の爲め、**二年度に亘り鐵軌鑿工事は中止**する事を協議せるが、一種定数の作は朝臣委員會にて審査せし草案に對し、評議院投票を十名連記の無名投票と爲す事及び賦課金徴收の六期を四期に會

[illegible]

別宅に怪しき獨逸人等を密に出入せしめ、何事か期りに客應を演らしつゝ、
 獨逸主義の極端なる手段を執つて、
 我々にして知らざる苦肉の計を廻ら
 ば四月上旬より六月中、獨逸を初期する事に、
 午後六時散會せり

前は二十九萬七千餘圓にして糯米
 三十七萬八千餘圓に上れり、初めは
 忠清道外改良米にて、月初の十一
 日、七錢、後常なしも、阪地期正米の
 成に連れて、十圓九千、下、押米
 京大平通三丁目壹壹番地

●外交員募銀
 希望者至急來談
 一圓金三圓銀
 一圓金三圓銀

●月米三十鎰力渡候より精米は特
に月初め十四圓八十鎰の高値に
なりしも月央十四圓に下落し月末は
立廻り十四圓三鎰を順高に安
當地四月下旬末在順高は安
萬五千二百餘飲白米七千六百餘
の多きを察し節より若しく増加

●有給外員數名採用す 希望所
は郵便局、携帶本國來訪者、京城
花園園一帶、帝國圖書館及會文部
官本質入藏買 郵報奉送
●古城 賈仁日町 活明筋一 252
電話二六三六番 野村書店

●番外 一名別創金五十鎰計
一願創銀六十金五鎰計

●寄記系一入用 希望所 87

[illegible]

城は、本省政府の中心たるのみならず、遠く鐵道開通の今日は實に商業の中心地となり、府城は省の中西海運に六千四百尺の高原に位置し、方長明湖に接す、併て一名昆明と稱す。附に、至るに二日を要す、市街は北平より高低あるを見るも概ね平坦な所、城内は約九里に亘る苑を以て、城内には別て六、七の南門、北門、小東門、西門、小西門と爲す。

至急大和町二丁目（日の出橋下）
 南門大通二丁目（萬祥堂印房）
 〇京城府立本邦女子專門學校
 大和町二丁目（日の出橋下）
 小兒科
 爲春堂醫院 267
 內科
 院長 古坂（八重）吉

女給仕入用
 年齢十五歳以上廿歳迄希望者至急本
 人來談
 電話四二二番
 三番
 京橋本町二丁目九番ビル
 カウエービス

水仙
 丹中盆梅水仙及黃金八重蘭の長子
 牡丹種水仙及黄色金橘花の長子
 命菊各種七色一鉢一鉢二鉢
 三十錢送金一鉢一鉢二鉢
 早蓮送金二鉢
 下高井郡延福村 盛慶園附す
 長野 仙下

前保

幸あり一帯は鐵道停車場亦此の地城
 在り人口は城の内外にて凡そ九萬
 二千三百三十四人其の十分の七は四
 十より移住せしものにて之に次ぐ
 恩給年金額立替

皮膚病 專須古醫院 上
 花柳病 電話二〇三番

京成永樂町一商品陳列館坂の上

225

湖南人とす存在外國人は六十六名
 として之を類別せば日本人二十八名
 華人二十名、英國人八名、葡國人
 一人、伊太利人二人、米人、露人、獨
 各一名なり果南境は交通運輸不便
 にして商業遂げず需要供給共に乏
 なり雖も省城は一省の首都に
 なるを以て

京成協和町二十三番地
 入電二三八三番
 龍山漢江三國地

食料品商 山田商店 255
 雜貨 龍山漢江三國地

勸業貯蓄債券 前價288
 同月賦清の郵便便 買入 268
 附屬の郵便便 買入 268

電話五二七番

東三省特別制
東拓移民事務所
裁縫刺繡院

有價證券
 六九七六〇六〇
 壹參參七、四壹〇六六〇
 他店一貨
 壹參參七、六六參八五四〇
 六四七、五壹五、五六〇〇
 新嘉坡地
 所莊地
 金銀有
 大平通二
 外交易集
 成六平通二
 目壹壹
 希望者主
 來觀說
 286

[illegible][illegible][illegible]

恩給年金類立替

電話二〇三番

皮膚病 專治

花柳病 須士古醫院

京都永樂堂

藥品附刻 箱坂の上

三

▲其効能の卓絶せる
は數年來一絶顧客
の兩々比較實驗せ

人

堂

養精(官製)其他と
は自ら其價を異す

創業 貯蓄債券 分高 268
 同日賦資開始の郵便貯蓄債券
 龍山三入江海三番地
 東京武蔵野町二十三番地
 成田報北右に
 電話 三三八三
 龍山三入江海三番地
 電話 五三七番
 山田商店 253
 食料品子
 雜貨
 井上藥品部
 近時狡猾者流が参
 精以外の製劑を目
 して成分を異にし
 るものゝ如く
 吹聴し顧客を欺瞞
 するものあり本舖
 の人形標に御注意
 部 品 藥 上 井

金目シシンガー裁縫刺繍院

| | |
|------------|---------------|
| 新舊 有價證券 | 六九七六〇六〇 |
| 一他店へ貸 | 壹、參參七、四壹〇、六六〇 |
| 地所建物 | 壹、壹四七、六七參、八貳〇 |
| 新築費 | 六參參、六〇壹、五四〇 |
| 金銀有荷 | 貳四、七五壹、五六〇 |

| | | |
|---------|-------|--------|
| 合計 | 壹六〇七九 | 壹貳九七〇 |
| 常關稅金 | 壹五四 | 參貳壹八〇 |
| 前開利息 | 五〇六 | 參參貳九貳六 |
| 合計 | 壹六〇七九 | 壹貳九七〇 |
| 法債立金 | 貳〇〇〇〇 | 〇〇〇〇〇 |
| 當與金(年入) | 壹五四六九 | 〇〇〇〇〇 |
| 配費一舉 | 壹五〇 | 〇〇〇〇〇 |
| 費別一舉 | 壹五〇 | 〇〇〇〇〇 |

| | | | | |
|-----------------------|-----------------------|-----------------------|------------------|------------------|
| 同 | 同 | 同 | 取 締 役 | 副 頭 取 |
| 足 立 瀧 二 郎 | 野 口 孝 太 郎 | 高 橋 守 太 郎 | 松 田 英 三 | 永 見 寛 二 |

高

大

▲本舗のエキスは高
麗人蔘の全成分を
薬局方の方法によ

同 同

監査役

藤瀬宗一郎
山田三郎
高田和平

前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ
探赜候也

蔘精(官製)其他と
 は自ら其撰を異す
 ▲其効能の卓絶せる
 は數年來一般顧客
 の兩々比較實驗せ
 宜 壽 堂

▲近時狡猾者流が荜
 精以外の製劑を目
 して成分を異にす
 るものゝ如く
 ▲吹聴し顧客を欺瞞
 するものあり本舖
 の人形標に御注意

十九日夜、太田發午後十時、本館著、別車
機關車入れ換への際、木浦驛員

十九日夜、太田發午後十時、本館著、列車
著、驛し、機關車入れ換への際、木浦驛員
傳、數手、舊、藩主太田(三)藩、撤、衆、務、に、從

十九日夜、太田發午後十時、本館著、列車
著、驛し、機關車入れ換への際、木浦驛員
傳、數手、舊、老太郎(三) 傳、故、衆、務に從

